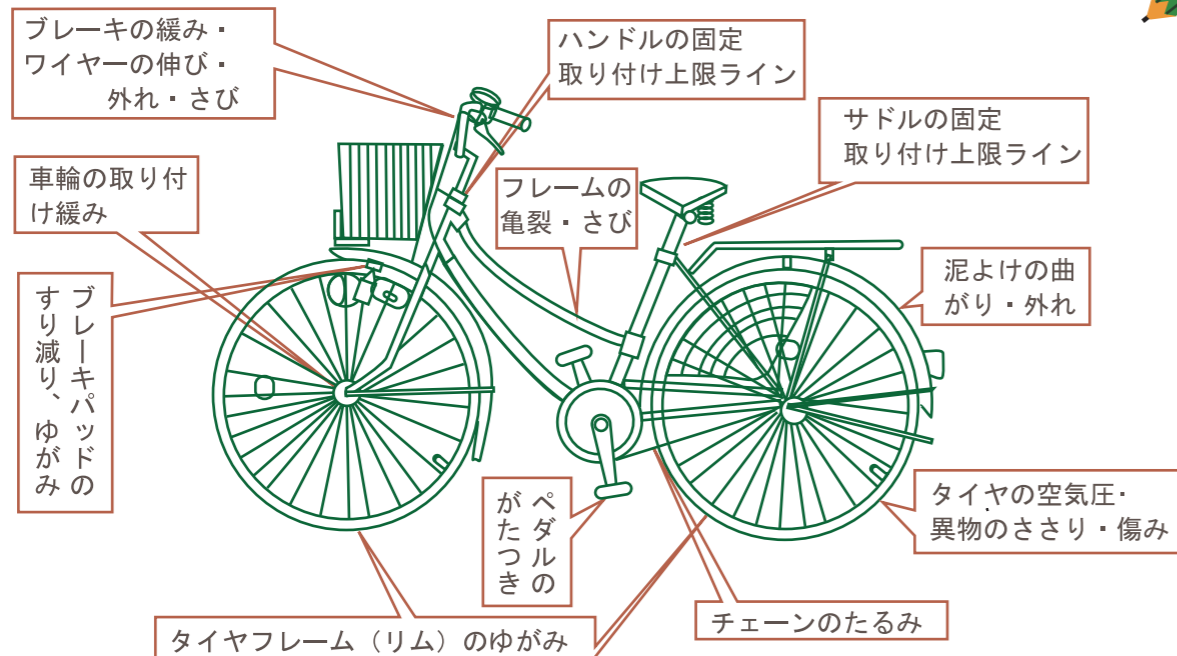


自転車は乗車前に点検をしましょう



乗車前に、各部位を点検してください。異常を発見したら販売店（自転車安全整備士、自転車技士など）による点検を受けてください。
特に、衝突や転倒などの衝撃があったときは、必ず点検を受けてください。

リコール製品を使っていませんか？

未回収のリコール製品で事故が発生しています

お持ちの製品がリコール製品に該当していないか
NITEのホームページで確認してください。

<http://www.jiko.nite.go.jp/php/shakoku/search/index.php>

- ・リコール製品をお持ちの場合は、使用を中止してください。現在は使用できていても、使っているうちに不具合が生じることがあります。
- ・リコール製品が見つかった場合は、必ず事業者に連絡してください。
- ・事業者が倒産などで連絡がとれない場合は、適切に処分をしてください。



子どものまわりは危険がいっぱい！！

あぶない！が身近にかくれていませんか？





ロール式の網戸のひもで窒息

事例

幼児（2歳）がベビーベッドの近くに取り付けていた網戸の操作ひもで遊んでいたところ、ひもが首にからんで窒息した。（2012年4月 青森県）



原因

ロール式の網戸のひもで遊んでいるうち、ひもが首にからまったものです。



- ・乳幼児のまわりのひもに、注意しましょう。玩具のひもが手に巻き付いてけがをした事故もあります。
- ・フードやひもの付いた衣服にも気をつけてください。

ウォーターサーバーでやけど

事例

幼児（2歳）がウォーターサーバーでやけどを負った。（2011年12月 大阪府）



原因

幼児が温水コックにさわったとき、コックが緩んで湯が漏れたものです。



- ・子どもが温水コックに直接ふれないように注意してください。子どもがやけどを負うと皮膚が薄いために重傷化するおそれがあります。

前輪がロックして転倒

事例

子ども（13歳）が自転車で緩やかな下り坂を走行中、突然前輪がロックして転倒し、けがをした。（2013年4月 熊本県）



原因

前輪に異物を巻き込んだため、急にロックがかかった状態になったものです。



- ・自転車のハンドルに荷物や傘をかけないでください。
- ・乗車前に点検を行ってください。
- ・自転車の事故は購入後1年以内に多く発生しています。操作に慣れるまで慎重に運転をしてください。

車輪に足を巻き込まれてけが

事例

自転車用幼児座席の足乗せ部分が折れて、幼児（6歳）が車輪に足を巻き込まれてけがをした。（2012年5月 兵庫県）



原因

転倒などの衝撃で足乗せ部分に変形して亀裂が発生し、そこに使用による負荷が加わって破損したものです。



- ・幼児座席は乗車前にしっかりと固定しているかどうか点検をしてください。また、亀裂やがたつきがないか確認しましょう。
- ・取り付けは正確に行ってください。不安な場合は、販売店で取り付けてもらいましょう。

電子レンジが落下してけが

事例

電子レンジで調理をしようとして扉を開けたままにしていたところ、幼児（2歳）が扉をつかんだためにレンジが落下して負傷した。（2010年7月 千葉県）



原因

縦開きの扉を開くと、ちょうど幼児の手が届く高さになってしまったため、扉をつかんだものです。



- ・子どもの手の届くところに危険なものがないか点検しましょう。電気ポットを倒してやけどを負ったという事故なども発生しています。

逆に入れた電池が破裂

事例

懐中電灯の電池が破裂して飛び出した。（2011年9月 千葉県）

原因

子ども（小学生）が電池を1個逆装てんしたために電池が充電されて内圧が上昇して破裂したものです。



- ・電池は＋を確認し、正しく装てんしてください。
- ・電池は古いものと新しいものを混ぜて使用すると、古い電池が液漏れを起こすことがあります。この液にふれると化学やけどを負うおそれがあります。

折れ戸で指を骨折

事例

幼児（3歳）が折れ戸に指をはさんで骨折した。（2011年3月 和歌山県）



原因

幼児が左手小指を扉のすき間に置いた状態で扉を閉めたため、指をはさんだものです。



- ・折れ戸（クローゼット用など）や引き違い窓など、幼児が指をはさむおそれがあるものには、鍵をかけるなど日ごろから注意をしてください。
- ・折れ戸のすき間をふさぐ部品を活用するのも事故防止に有効です。

コードに足を引っかけてやけど

事例

カウンターの上に置いて使用していた加湿器が落下し、乳児（6カ月）がやけどを負った。（2010年11月 神奈川県）



原因

加湿器の電源コードが床にたるんだ状態になっていたため、乳児が足を引っかけたものです。



- ・電気コードが子どもの足に引っかからないように子どもの行動範囲には注意してください。
- ・電気製品を高いところに置いて使用するとき、手で引っ張って落下させることがないようにしてください。

ベビーカーに指をはさんでけが

事例

ベビーカーを開こうとしたところ、幼児（3歳）の指が折り畳み部にはさまってけがをした。（2013年6月 千葉県）



原因

子どもが近くにいるときにベビーカーを開いたため、折り畳み部に置いていた指をはさんだものです。



- ・子どもが近くにいるときは、ベビーカーの開閉などの操作に注意をしてください。
- ・肩や腰、股のベルトの調整は、正しく行ってください。固定ベルトが緩んでいたために、幼児がずり落ちた事例もあります。

ヘアドライヤーでやけど

事例

子ども（11歳）がヘアドライヤーを使用中、電源コードの付け根部分から火花が出て、衣類に穴が開いて腹部にやけどを負った。（2012年4月 神奈川県）

原因

収納時にコードを本体に巻き付けるなど、曲げたり引っ張ったりしていたためにコードが断線してショートしたものです。



- ・収納時にコードを本体に巻き付けしないでください。コードは伸ばして使いましょう。
- ・ヘアドライヤーは消費電力（W）が大きいので、コードに無理な力がかかると、コードが断線して危険です。

